



2019～2020年度

国際ロータリー第2790地区

君津ロータリークラブ週報

例会日 毎週月曜日
12:30PM～13:30PM
例会場 ホテル千成
Tel:0439-52-8511

事務局
〒299-1144君津市東坂田1-3-3-304
Tel:0439-52-8882
Fax:0439-20-8880

Vol. 6回 No.2098 2019.8.19

令和元年8月 第2例会 曇

開始点鐘 津留三枝子袖ヶ浦RC会長
Rソング 奉仕の理想
お客様 諸岡 靖彦(ガバナー)
" 堀口 路加(地区幹事長)
" 小川 義則(ガバナー補佐)
四つのテスト 高村 和朗会員

【出席報告】 免除者3名 休会0名

例会数	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
2098	58	57	46	11	80.07%
2097	58	56	40	16	71.43%
前々回の修正	メイクアップ	0名			69.09%

(敬称略)

会長挨拶及び報告

内山貴美子会長



皆様こんにちは！本日は君津RC・袖ヶ浦RCガバナー公式訪問が無事開催されることを心より感謝申し上げます。

諸岡ガバナー、堀口幹事長におかれましては、お忙しいスケジュールの中、ご出席いただきありがとうございます。そして袖ヶ浦RCの皆様、本日はよろしくお願い致します。

私は、17,18日と大好きな赤川の花火大会に行っていました。

この花火大会は「感動日本一」といわれるくらいで、私も大きな感動と元気をもらって帰ってきました。

7分間で花火の幅が700メートルを越す花火が2本と400メートル幅の花火が3本も上がるこの花火大会は大きさ、美しさはもちろんのこと、自分たちが小さい時に見たきれいな花火を子供たちに見せ、次の世代を担う子供たちに引き継いでほしいと願い頑張る若者、そして、それを暖かく見守り指導する大人、協力する地元企業とが1つになり、募金活動から上げる「市民花火」や、子供たちが想いを

描く夢のある未来へ続く道を照らし続ける「希望の光」花火は本当に感動させられます。そして、この指導する大人は私たちロータリアンであり、頑張る若者はローターアクト、インターアクトであると思います。又、花火大会のスローガン「VIVID (はつらつとした)花火でGENNK((元気)を伝えないと (ナイト)）」は、今年度の諸岡ガバナーのテーマである「ロータリーから千葉を元気に」と同じだと思いません。

さて、君津ロータリークラブの本年度のスローガンは「増やそうロータリーの手」です。

人には2本の手があります。一つは物をもらう手、そしてもう一つは物を与える手です。人はどれだけ得たかではなく、どれだけ多くをその手で与えたかが大切です。私たちロータリアンは、できるだけいろいろな体験、価値、教育等、多くの物をロータリー活動より吸収し、そしてそれを、与えることのできる立派なロータリアンとして、協力者、理解者となるのが大切です。また、RIマーク・ダニエル・マローニー会長のテーマである「ロータリーは世界をつなぐ」を実践し、身近な家族、職場、友達、地域社会を参加させながら「増やそうロータリーの手」でとつなぐ手をもっともっと増やし、2790地区諸岡ガバナーの「ロータリーから千葉を元気に」を実践し世界平和を目指しましょう。皆様、本日は1日どうぞよろしくお願い致します。

報告

1. 8月8日(木)にきみつ秋花火実行委員会会議が開催されました。

当クラブより平野会員が出席されました。お疲れ様でした。

会長挨拶及び報告

袖ヶ浦RC津留三枝子会長

皆様、こんにちは。今年度袖ヶ浦ロータリークラブの会長を務めさせて頂いております津留です。連日の猛暑にもかかわらず、「ガバナー公式合同例会」に多数の会員の皆様にご出席いただきまして誠にありがとうございます。



諸岡ガバナー、地区幹事長堀口様、ガバナー補佐小川様方のご来訪を頂きまして厚く御礼申し上げます。

例会に先立ち、諸岡ガバナー、地区幹事長堀口様、小川ガバナー補佐、との懇談会に鶴田幹事、勝畑会長エレクト、橋本副幹事で別席にて行いました。終始和やかな雰囲気の中に進められ、ガバナーの判りやすい説明も相まってこれからのロータリーの活動に対する理解が深まったように思いました。大変充実した懇談ができました事をご報告申し上げます。

本日のアドバイスを改めてかみしめて、袖ヶ浦ロータリークラブがますます元気で楽しいクラブになるように、会員増強が出来るように、奉仕活動が前に進みますように心がけてまいりたいと思います。

袖ヶ浦ロータリークラブは、会員25名の少し小さめのクラブではありますが、会員相互の友情と信頼の絆は他クラブにも負けないと自負しております。会長として緊張は増すばかりですが、当クラブの頼もしい会員に支えられて今日この日を迎えました。

君津ロータリークラブ様のロータリー活動には大変に勉強になることばかりで、今回の合同例会をきっかけにして、袖ヶ浦ロータリークラブと君津ロータリークラブとの間で交流が図れる機会が増えることを期待したいと思います。

最後になりましたが、本日の合同例会の会場提供と細やかなご配慮を頂きました、君津ロータリークラブの内山会長、武田幹事、ならびに会員の皆様に深く感謝を申し上げるとともに、ご参加いただきました会員の皆様にも感謝申し上げます。

この後ガバナーの卓話と合同クラブ協議会がございます。時間を十分有効に使って頂きたく、これで会長挨拶を終わりに致したいと思います。本日はよろしくお願ひ申し上げます。

幹事報告

武田富士子幹事

1. 8月22日(木) きみつ秋花火実行委員会会議が開催されます。

場所：生涯学習センター202

時間：18時30分

出席：平野会員

〈回覧〉

1. 君津RC週報・第5グループ週報は次回回覧
2. 会員名簿の校正
3. クラブ有志懇親会開催の出欠の案内
4. 甲府東RCとの合同例会・交流会についての出欠の案内

〈配布物〉

1. ガバナー公式訪問の次第
2. 2019-20年度活動計画書
3. 2019-20年度活動計画書の訂正シール
4. 確定申告用寄付金領収書
(公益財団法人ロータリー日本財団)

プログラム

国際ロータリー第2790地区諸岡靖彦ガバナー卓話 「国際ロータリーの現在とこれから」

諸岡靖彦ガバナー

本年度当地区ガバナーを務めます 諸岡 靖彦(成田ロータリークラブ)です。本日は国際ロータリーの現況と、来年10月に100周年を迎えます日本のロータリーの実情についてご報告すると同時に、私のロータリーに対する考え方を中心にお話しさせていただきます。



ロータリークラブ(RC)は、その会員であるロータリアンによって構成され、一方、国際ロータリー(RI)は、RCによって構成されます。ロータリーの創設者P.Harris(1868~1947)は資本主義社会の勃興期の、商業道徳が忘れられてしまった1905年に、米国シカゴの街に信頼と友情の仲間を増やしたいという趣旨でRCを創りました。親睦と相互扶助が初期の目的でしたが、奉仕という目的を加えることによって全米に拡がり、国境を超え、今では200以上の国と地域に、クラブ数3万6千、会員120万人を数える世界有数の奉仕目的団体となりました。こうした世界中のクラブの連合体をRIと称しています。ロータリーは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりで、世界に目を開いて幅広い奉仕活動を国際社会に、地域社会に展開しています。

このようにロータリーは奉仕という基本目標の下に、世界中に会員基盤を有し、クラブを、地域を、世界をリードしています。ロータリーの活動を確固たるものにしてゆくためには、一人一人のロータリー

アンがロータリーを熟知して、私たちが所属するクラブをより効果的なクラブに成長させることが大切です。クラブを構成する一人一人のロータリアンがリーダーシップを身につけ、会員組織を強くして、社会が必要とする奉仕活動を継続させてゆくことがロータリー活動の課題です。

本年度RIのMark D. Maloney会長は、ここ20年間の会員総数が120万人のレベルで推移していることを停滞と断じました。情報化と交通手段の格段の進展がグローバル化を進め、世界の動きがより早く、狭くなっています。他方で地域紛争が長く尾を引き、経済や通商分野には対立と分断が進み、世界中がバランス感覚を失っています。「あと少し」に迫ったポリオ根絶にも、時間とカネがまだ掛かりそうです。マローニー会長は、かつてないほど分断化された世界に繋がりを取り戻すことができるのはロータリーであると断言します。ロータリーはより健康的で、平和で、持続可能な世界に向けた国連とのコミットメントを有し、他の組織には見られない平和と相互理解という精神の下に世界中の人々が繋がることが出来、目標に向かって意義ある行動を起こすことの出来るインフラを有しています。今こそロータリーの出番です。ロータリーの組織としての勢いを回復させ、地域社会や家庭、職域に新しいつながりを創り、世界をつなぐことがロータリーの使命です。こうした背景から、マローニー会長は『ロータリーは世界をつなぐ』ROTARY CONNECTS THE WORLD のテーマを打ち出されました。

私はマローニー会長のテーマを受けて、「ロータリーから千葉を元気に」のスローガンを掲げました。千葉を元気にするためには地区内クラブが元気にならなければなりません。私の使命はクラブを鼓舞し、クラブを元気にすることです。地区組織の総力を挙げて、クラブを元気にします。

さて、ご参集のロータリアンの皆様に投げかけてみたい話題があります。皆様ご自身にとってロータリーの魅力とは何でしょう、ロータリーを続けている理由は何だと思いいなるのでしょうか？

来年10月に日本にロータリーが生まれて100周年を迎えます。「日本のロータリー100周年実行委員会」が一昨年全国のRCに対して意識調査を行いました。この中に日本人ロータリアンの意識を探ることができます。（この詳細は「ロータリーの友」2017年11月号に掲載）

上位6番目までの理由を拾ってみますと①異業種交流ができる ②生涯の友人・仲間ができる ③自己研さんと学習・成長の機会 ④例会が楽しい ⑤奉仕活動ができる ⑥心からの親睦が得られる…となっています。奉仕活動への期待よりも、他人と

の関わりを大切にしている、という結果でした。皆様の場合はいかがでしょうか？

私の考え方ですが、「出会いの妙」、それがロータリーの魅力の第一です。2010 - 11年度にクラブ会長を務め、その後地区へ出るようになってから、殊に多様な地区ロータリアンとの交流が楽しみになりました。GND、GN、GEと年々立場がガバナーに近づくにつれて、シニア・リーダーといわれる方々やPDGと接する機会が増えて、様々な人間像、彼らの奉仕活動の体験談、立ち居振舞い、リーダーシップのあり方を垣間見てきました。ロータリアンは対等です。ロータリーの会合では、公式、非公式に関わらず対面すればどんな著名な方とでも対等なお付き合い、お話を交わすことができます。「ロータリーにNo! は無い」とよく言いますが、回ってきた役目はお受けするのが良いと思います。ロータリーを学び、自分の世界を広げるチャンスだと思うべきです。苦手な分野であっても、ポジティブに受け取るべきです。不安な気持ちが準備を進め、問題意識を高めます。例会や奉仕活動では、意識して年代の違う会員、職業分類の全く違う会員との交流が視野を広げ、感性を刺激します。RIの青少年プログラムは年齢層によって設定が変わりますが、IAC、青少年交換、RYLA、RACに参加しますと、ロータリーファミリーの幅の広さと若い力に教えられます。ものの見方、考え方そして何よりもロータリー観が養われます。このほかにもロータリーの世界的ネットワークの凄さ、R財団や米山奨学会の資金力は奉仕活動にとって、大きな原動力であり、その事業に惚れこめば健全で素直な寄付協力を近づけると思います。

ロータリーの全体像を絵にして表現すると、どんなことになるのでしょうか！『ロータリーの樹』をご覧ください。青木貞雄ガバナー年度の2016年の地区大会にRI会長代理で当地区に派遣された渡辺好政PDGがRI理事をお務めの2006 - 07年度の頃に持論を展開したというのがこの図表です。樹を育て、森を創る発想は日本人の自然観によく嵌ります。森を征服して街を切り拓くという西欧人の感性との差が見て取れます。土壌（中核的価値観）があって、根（Rの理念）があるから幹（Rの目的）は育ち、幹を太らせれば枝葉（五大奉仕活動や6つの重点分野）が広がり、陽光を浴びて果実（R財団）が実り、全体景観としてのRの公共イメージが向上する…というものです。

この『Rの樹』から様々なインスピレーションが生まれます。ロータリアンは「個」からスタートして自学（楽）自習して、個のリーダーシップを養います。樹を大きく育ててゆくには高潔性という土壌が特に大切です。ロータリーがロータリーであるた

めには、職業倫理に従って得た経済力が個人の奉仕活動の原動力になるからです。「クラブ」が地域社会に働きかける要件として、クラブが元気でなければ地域に対して健全な提案やリーダーシップが発揮できません。会員基盤を多様化させて、クラブを持続的に盛り上げてゆくことが大切です。クラブの活動計画は奉仕活動も親睦も絆を創るための相互の存在と役割を認め合って、タテワリの活動だけではなく、上位の目的を共有し合うヨコワリのクロス・プロモーションを意識して動かなければなりません。この樹を持続的に、いかに強く育てるかは、戦略計画の課題です。樹を育て、森を如何に創ってゆくかはクラブ会員全体の総意に関わります。全会員の討議で森を創るビジョンを構想してください。ビジョンができれば毎月の、毎年の作業計画を創って、実行してください。半月後、1年後の実行チェックは欠かすことのできない、次のステップに向かう大事な振返りです。こうして樹が育てばロータリーの活動はますます意義深くなり、楽しくなることでしょう。

ところで、世界のロータリーと日本のロータリーにはギャップが生じている、ということをお聞きになっていませんか？

日本のロータリアンが重視する職業奉仕（実は、日本人ロータリアンがこだわっているのは職業「倫理」のようです）は、世界中の何処へ行っても通じないというのです。職業奉仕とは職業上持ち得た専門知識や技能を活かして社会奉仕に貢献することだと、世界は考えているようです。職業奉仕を特別なロータリーを動かす土台としては考えていないのです。先の規定審議会でRACをRIの会員として認める件や、例会の欠席補填(メークアップ)を当年度以内とする緩和決定には驚きました。しかしこの狭い日本列島で2000年もの永い間、自然神信仰(神道)、仏教、儒教を自生的に「餅をこねるように」創り、武士道や商人道に形成し、実践してきた日本人の思想の風土を考えれば、職業奉仕の重視というスタンスは軽率なポピュリズムよりは遥かに重いものです。日本のロータリーがガラパゴスとか、周回遅れで走っているという評価はいただけるものではありません。来年に迫った日本のロータリー100周年では、ロータリーという米国建国期ピューリタンの思想潮流を、日本人の風土、文化になじむよう取り入れてきた社会運動として正しく評価されるべきものだと思います。如何でしょうか。

さて、これからのロータリーの方向はどうなるのでしょうか？

5月から日本の元号が「令和」と改元されました。明治以降の大正、昭和、平成の150年はおおよそ30年ごとに登り坂と降り坂を交互に経験してきま

した。平成の30年間の日本は、バブルの崩壊以後世界同時不況、大震災や自然災害がつづいて、降り坂の30年でした。外に目を向ける産業分野もありましたが、大多数の内向きな日本人は「井の中の蛙」と化しました。政府は内需を高めるために躍起になって財政出動しますが、国の借金が膨らむだけでした。人件費の上昇以上には生産性が目立って改善するわけではなく、低成長（時にはマイナス成長）がつづいています。

令和の時代には、もっと大らかに、日本人が持つ相手に心を寄せる優しさが発揮される時代になって欲しいと思います。そして日本人がもっと国際社会に出て、世界に貢献でき期待したいと思います。そのためには、ロータリーと同じように、日本人は明確な国家戦略をもつことが必要です。先ごろ経済同友会が発表した『危機感なき茹でガエル日本——過去の延長線上に未来はない——』の、日本再生の処方箋をご紹介します。三次元の図表で表わせば、X軸＝経済の豊かさの実現、Y軸＝イノベーションによる未来の開拓、Z軸＝社会の持続可能性の確保、という社会の、近視眼ではない30年、50年後を見通した構想を基本として、そこに到る道筋を考えなければならない、ということです。令和の時代を、「敗北と挫折」の平成の30年の延長と思うのではなく、危機感を持って、日本人の繊細な感性を活かせる健康長寿、地球環境、持続可能性を構築する分野などで世界のトップを目指すべきです。

1月のサンディエゴのRI国際協議会で、GEとしてGETSに参加したとき、会場の入り口に掲げられていた標語は Join Leaders ,Exchange Ideas ,Take Action ! …「リーダーを集め、意見を交換し、行動に移せ！」でした。かつてのそれは、Enter to Learn ,Go Forth to Serve! …「入りて学び、出でて奉仕せよ」でした。標語が変わったことの意味する所は、RIが戦略計画を構築するための姿勢を示しているものであると理解します。リーダーを集めて、意見を交換して、そして行動する、ということです。これがRIのこれからの行き方です。

以上で「RIの現在とこれから」というお話を終わらせていただきます。ご清聴、ありがとうございました。

ニコニコBOX

内山貴美子 諸岡ガバナー、堀口幹事長、袖ヶ浦RCの皆様本日は来訪ありがとうございます。今後、本日の公式訪問によって交流が深められ、ロータリー活動が発展できること期待いたします。

武田富士子 本日、ガバナー公式訪問です。君津

	RCと袖ヶ浦RCさんとの合同例会の基ですが、とても緊張しました。君津のピーアールも含め発言したつもりですが、口八丁幹事なので失礼はなかったかと心配・反省シキリです。諸岡ガバナー、堀口地区幹事長今後も君津RCよろしくお願い致します。		てください。
中村 圭一	諸岡ガバナー様、堀口地区幹事長様、袖ヶ浦RCの皆様本日は、ご来訪ありがとうございます。本日の機会を、今後の活動や親睦に活かしていきたいと思います。	廣田 二郎	諸岡ガバナー来訪ありがとうございました。
秋元 秀夫 永嵩 嘉嗣	諸岡ガバナー暑い所ご苦労様です。諸岡ガバナー御来訪ありがとうございます。本日はどうぞよろしくお願い致します。	早見 秀一	諸岡ガバナー様、堀口地区幹事長様、津留会長様と袖ヶ浦RCの皆様ようこそ君津RCへお越し下さいました。今日は楽しんで行って下さい。
隈元 雅博	諸岡ガバナー、小川ガバナー補佐本日は、ありがとうございます。津留会長、鶴田幹事をはじめとする袖ヶ浦ロータリークラブの皆さん地域貢献と世界平和の為に共にロータリー活動を頑張りましょう!	谷口 弘志	諸岡ガバナー、小川ガバナー補佐、堀口幹事長、ご来訪ありがとうございます。先週は夏期休暇ということで久しぶりに九州に帰省しましたが、丁度、台風に遭遇して予定が大幅に狂った一週間でした。
荒井潤一郎	ガバナー公式訪問及び合同例会で、よりロータリーを理解できました。今後もロータリー活動を頑張ります。	宮寄 慎	諸岡ガバナー、堀口幹事長、小川ガバナー補佐様ご来訪ありがとうございます。袖ヶ浦RCの皆様もご来訪頂きありがとうございます。合同クラブ協議会、懇親会まで宜しく願います。
黒岩 靖之	諸岡ガバナー様、堀口幹事長様、小川ガバナー補佐様ご来訪ありがとうございます。本日はよろしくお願い致します。	倉繁 裕	諸岡ガバナー様、袖ヶ浦ロータリークラブの皆様、ご来訪頂きありがとうございます。東京オリンピックのチケット敗者復活申込みですが、エントリーできる競技、日程が限定されて、希望と合わない中、とりあえず、1種類選択してエントリーしました。この後の機会があることに期待しています。
宮本 茂一	諸岡靖彦ガバナー公式訪問ありがとうございます。袖ヶ浦の皆様暑い中訪問ありがとうございます!!	村上 進	皆様こんにちは。諸岡ガバナー、小川ガバナー補佐、袖ヶ浦RCの皆様、君津ロータリークラブへご来訪頂きありがとうございます。諸岡ガバナー卓話ありがとうございます。
福田 順也	諸岡ガバナー、小川ガバナー補佐、堀口地区幹事長本日は、ありがとうございます。	秋元ゆかり	諸岡ガバナーご来訪ありがとうございます。
小川 哲也	諸岡ガバナー様本日は、来訪まことにありがとうございます。袖ヶ浦RCの皆様もようこそ。	原田 健夫	諸岡ガバナー様、堀口幹事長様、津留袖ヶ浦RC会長様、君津RC訪問ありがとうございます。
楠原 義章	8/4の君津いやさか踊りに次いで、8/14に木更津のやっさいもっさい踊りに参加しました。こちらも15年振りの参加です。15年前に比べて、お祭り全体が和やかな雰囲気になっているのに驚きました。	赤星 哲也	袖ヶ浦RCの皆様ようこそ。今後ともよろしく。
大森 俊介	諸岡ガバナー、袖ヶ浦RCの皆様、本日はご来訪ありがとうございます。	藪 武	初めての合同例会で新しい刺激をいただきました。これからも活動頑張ります。
前田 亮	暑いですねー!皆さん体調気を付け	遠田 祐治	暑いですね。暑さに負けず頑張りましょう。
		大住 昌弘	本日は、諸岡ガバナー様初め2790地区幹部の皆様、袖ヶ浦ロータリークラブの皆様君津においでいただき

有難うございます。お盆をはさんで、各地で地元の祭りで子供達の明るい歓声が響きます。久し振りの地元の方々との交友、楽しみです。

中野 賢二 暑い日が続いています。当社は現場での作業がメインですが、会社に戻ったときに自由に食べれるように、アイスクリームを用意しております。最近は減る速度が速いので、日中の仕事の大変さを感じております。

坂本 直樹 諸岡ガバナーご来訪誠に有難うございます。袖ヶ浦RCの皆様、本日は宜しくお願い致します。

大川 裕士 諸岡ガバナー様、堀口地区幹事長様、小川ガバナー補佐様来訪ありがとうございます。お盆が過ぎ、秋の気配も致しますが、残暑まだまだ厳しい折り、お身体ご自愛下さい。



合同クラブ協議会の様子 / R1.8.19



懇親会の様子

